

令和5年度 環境活動スタート事業

1 実施校

金山町立金山中学校（全校生）

2 実施日

令和5年11月6日（月曜日）

3 内容

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。

キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

地球温暖化や気候変動について聞いて、人間が起こした問題は私たちが解決しようという気持ちを持つことができました。また、温暖化が原因でたくさんの人々のふるさとが失われたり、海面上昇、たくさんの雨が降るなどの多くの問題がおこってしまうということを知ることができました。自分達にできることや、今までの行動を振り返って改善できるように努力したいです。

キリバスでは、私たちが思っている以上に深刻だということに気づかされました。特に地球温暖化で海面が上昇しているということです。なので基本のことから取り組むことが大切だとわかりました。今まで地球温暖化などの環境問題は身近に思っていなかったけど、日本も大変だと考えることができました。

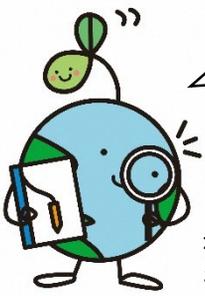
キリバスの問題点や私達が今できることを今日は知ることができました。また「愛の反対とは、無知と無関心」という言葉が心に残りました。小さい子どもや大人の人達までを、一人も取り残さない世界にできるよう自分ができることをこれからもしていこうとあらためて感じる事ができ、行動しようと思いました。

今日の講演を聞いて体育の事前学習で調べたキリバスや温暖化とは違う姿を知る事ができました。いつもテレビで言っている「島が沈む」「気温が上がって海面が上がる」事は、実際にはイメージしづらかったけど、この講演を聞いて、とても大変なことということが分かりました。とても貴重な経験になりました。

地球温暖化は、自分たちに全然関係がないわけではなく関係がとてもあることが分かりました。地球温暖化ということはあまり意識していなかったですが、地球温暖化は人の思い出なども奪ってしまい、さらに命までも奪ってしまうことが分かりました。もしかしたら自分の命や大切な人の命も奪われてしまうととてもこわいです。これから世界を守るためにも地球温暖化に目をむけ、ゴミを平宇などの対策もたくさん取り組みたいです。

お話を聞いて、キリバスにとっての地球温暖化の問題の大きさがわかりました。あんなにきれいな海と空と砂浜が見られる国がいずれ「海に沈んでしまう」と言われていると思ったら、とてももったいないと思いました。これからの生活では、地球温暖化を止めるために自分達にできることを見つけて、できる限り実践していきたいです。

同じ地球でこんなにも大変なことがおきているとは思わなかったです。これからは物を無駄にしないよう、環境のことを考えて行動していこうと思いました。そして、この地球温暖化の問題が日本や世界に広まっていったらいいなと思いました。また、ニュースなどにもこの問題が沢山のればいいなと思いました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- ごみの分別、減量に取り組む
- 誰もいない教室や部屋の電気を消す

ごみの分別、減量は意識をしていないと実践できないなと感じた。家での分別を家族と相談して、本格的に始めたい。教室などを出る際、意識しなくても電気をすぐ消すことができた。



- 登校する時に車をあまりつかわないようにする

これを毎日やりたいと思いました。思ってたより楽しかったし、いっしょにお話できる人もできました。



- 落ちているゴミを拾う
- ゴミを分別する
- 節電節水に取り組む
- 好き嫌いをせず食べ残しをしない

常に意識をしていないと実践することが難しいということを実感しました。食べ残しをしないことと節電節水は実践することができました。これからも意識していきたいです。



- プラごみの分別

出かけた時に、飲んだペットボトルをプラごみ箱に入れることができた。また家では、ペットボトルなどを分別して捨てることができた。



- コンセントにさしっぱなしのコードを極力ぬく
- 移動の仕方を考える
- シャワーを出しっぱなしにしないようにする
- 冷蔵庫の排気口にものを置かない
- 給食は絶対のこしません！

給食は残さず過ごすことができました。水道やシャワーなど使っているときに意識的に止めて節約するようになりました。また、社会科の学習で金山町のリサイクル率など環境についても多く考えられる時間になりました。

